

計画の名称	12 東日本大震災からの復興に向けた社会資本整備（復興基本方針関連（復興））			重点計画の該当	
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	宮城県、名取市、亶理町、山元町、多賀城市、松島町、石巻市、東松島市、気仙沼市、南三陸町		
計画の目標					

・県民の命と生活を守り、震災を乗り越え、宮城のさらなる発展に繋げる社会資本整備を行う

◇ 津波防災まちづくり

大津波により壊滅的被害を受けた沿岸部では、施設復旧は原形復旧にとどまらず、内陸部とのネットワーク強化のための取り組み等と合わせて、壊滅的なダメージを回避する粘り強い社会資本整備として、大津波対策緊急プロジェクトや防災道路ネットワーク整備緊急プロジェクトなどを進める。

△道路の防災・震災対策

県土の道路ネットワークにおいて、被災時の通行確保等を目的とした法面の防災対策や橋梁耐震補強のための対策や老朽橋の架け替え等を進めるとともに、防災拠点の再整備、I T V等を用いた道路情報収集体制の強化を進める。

計画の成果目標（定量的指標）						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
① 県土復興における津波防災道路網の達成率 (%)						当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
② 県土における地震対策済み重要路線確保率 (%)						48.7%	75.3%	100.0%				
定量的指標の定義及び算定式												
① 県土復興における津波防災道路網の達成率 (%)	$\text{達成率} = \frac{\sum (\text{津波防災道路整備延長})}{\sum (\text{津波防災道路全体計画})} \times 100 (\%)$					0.0%	16.7%	33.9%				
② 県土における地震対策済み重要路線確保率 (%)	$\text{確保率} = \frac{\sum (\text{耐震化完了橋梁数})}{\sum (\text{耐震化必要橋梁数})} \times 100 (\%)$					48.7%	75.3%	100.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	62,828 百万円	A	62,434 百万円	B	360 百万円	C	34 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合	0.1%

事後評価

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
宮城県及び各市町村において、数値目標の達成状況や事業効果の発現を検証し、その結果を踏まえて今後の整備方針を検討した。	平成30年6月
	公表の方法
	宮城県のホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考	
											H23	H24	H25	H26	H27				
12-A1	道路	一般	県	直接	—	国道	改築	(国) 398号石巻BPⅡ期・大瓜工区	バイパス	3.4km	石巻市						9,877		
12-A2	道路	一般	県	直接	—	国道	改築	(国) 346号・本吉工区	バイパス	1.6km	気仙沼市						2,372		
12-A3	道路	一般	県	直接	—	国道	改築	(国) 398号・志津川小森工区	バイパス	1.0km	南三陸町						0		
12-A4	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(仮) (一) 石巻北インター線・蛇田工区	バイパス	0.3km	石巻市						605		
12-A5	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 角田山元線・坂元工区	バイパス	2.0km	山元町						0		
12-A6	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 石巻鮎川線・風越2工区	バイパス	1.2km	石巻市						972		
12-A7	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 女川牡鹿線・高白工区	バイパス	2.7km	女川町						1,218		
12-A8	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 気仙沼唐桑線・本町工区	バイパス	0.4km	気仙沼市						327		
12-A9	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 岩沼海浜緑地線・押分工区	現道拡幅	1.0km	岩沼市						428		
12-A10	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 鳴瀬南郷線・西福田工区	現道拡幅	3.3km	東松島市						212		
12-A11	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 石巻女川線・浦宿工区	バイパス	1.1km	女川町						1,242		
12-A12	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 馬場只越線・只越工区	バイパス	0.9km	気仙沼市						336		
12-A13	道路	離島	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 大島浪板線・大島工区	バイパス	3.6km	気仙沼市						10,873		
12-A14	道路	離島	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 出島線・出島工区	バイパス	2.6km	女川町						550		
12-A18	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 石巻雄勝線・雄勝峠工区	バイパス	17.0km	石巻市						459		
12-A25	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 河北桃生線・河北工区	バイパス	2.0km	石巻市						0		
12-A41	道路	一般	県	直接	—	国道	修繕	(国) 398号・戸倉工区	落石対策	0.4km	南三陸町						100		
12-A42	道路	一般	県	直接	—	国道	修繕	(国) 398号・岩沢工区	落石対策	0.2km	南三陸町						170		
12-A43	道路	一般	県	直接	—	国道	修繕	(国) 346号他・感恩橋他10橋	橋梁耐震		大崎市他						850		
12-A44	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	修繕	(主) 亶理大河原川崎線他・東根橋他35橋	橋梁耐震		角田市他						8,564		
12-A45	道路	一般	県	直接	—	都道府県道	修繕	(一) 瀬峰豊里線他・一五貫他27橋	橋梁耐震		登米市他						2,814		

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	個別施設計画策定状況	備考		
										H23	H24	H25	H26	H27					
12-B101	道路	一般	多賀城市	直接	-	市町村道	改築	(仮)笠神八幡線	雨水幹線整備	0.33km	多賀城市						360		
小計															360				

C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	個別施設計画策定状況	備考		
										H23	H24	H25	H26	H27					
12-C1	道路	一般	宮城県	直接	-			母子避難者等に対する高速道路利用支援事業	母子避難者等に対する高速道路無料措置		丸森町他						1.0		
12-C2	道路	離島	宮城県	直接	-			(一)大島浪板線・大島工区	防災ステーションの整備		気仙沼市						33		
小計																34			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	個別施設計画策定状況	備考		
									H24	H25	H26	H27	H28					
小計																0		

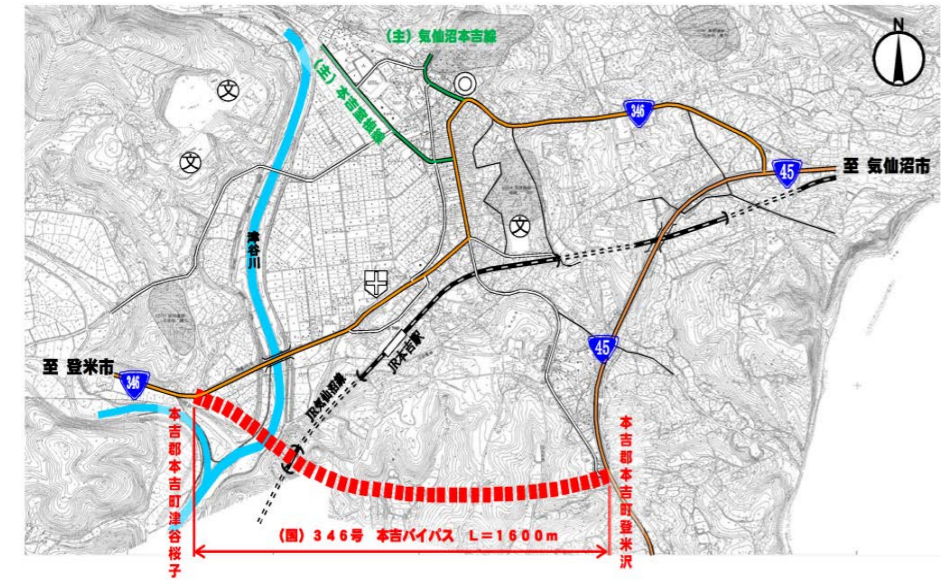
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況												
II 定量的指標の達成状況		指標① 津波防災道路網の達成率(%)	最終目標値	33.9%	目標と実績値に差が出た要因	震災による資材及び労働者不足に伴う事業遅延(入札不調など)及び用地交渉の難航や関係機関協議などに時間を要したため、一部事業の執行に遅れが生じたことから、最終目標値を下回ったもの。						
			最終実績値	17.1%								
		指標 重要路線確保率(%)	最終目標値	100.0%	目標と実績値に差が出た要因	当初計画における最終目標は、重要路線全ての橋梁の耐震化を図ることとしていたが、震災による資材及び労働者不足に伴う事業遅延(入札不調など)及び河川管理者などの協議に基づく施工期間の制限などにより、一部事業の執行に遅れが生じたことから、最終目標値を下回ったもの。						
			最終実績値	82.4%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)												

3. 特記事項(今後の方針等)

・平成29年度以降の継続事業については、次期計画に位置づけ、引き続き効果発現に向けて取り組む。

4. 整備事例

12-A-2 (国)346号・本吉工区(気仙沼市)



整備後の効果

「本吉バイパス」の供用により、安全かつ円滑な交通が確保されるとともに、気仙沼・本吉地域における産業経済の活性化や観光振興、沿岸部と内陸部を結ぶ防災道路としての機能などが期待されます。

整備後



12-A-43 (国)346号他・感恩橋他10橋【(国)457号・南澤橋(大崎市)】

